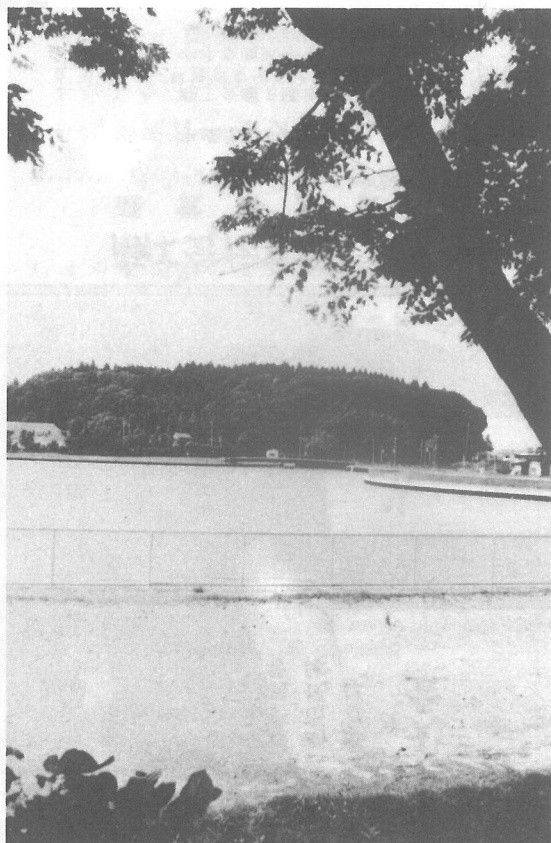


# 1億円の使いみち

# 元がトップ

アイデア募集に189点



要望が一番多かった坂田池周辺整備  
この台地に坂田城が蘇るのはいつの日か

国から交付される「ふるさと創生資金」一億円を、どのように生かすべきか――

町民の皆さんからアイデアを募集したところ189点ものご意見が寄せられました。本号ではその概要をお知らせします。

## 駅周辺整備や栗山川観光も個性あるまちづくりの熱い願望

この一億円事業は、竹下前首相の

ふるさと創生構想

によるもので、全

国の市町村にそれ

ぞれの地域特性・

個性を生かした事業

業を行わせようというのがねらいです。

話題を集めた金塊をはじめ

何でもいから日本一のもの

を――といった知恵くらべが、

全国各地で繰り広げられてい

ます。

町でも皆さんのさまざまな発想をもとに、より効果の高い事業に振り向けようと、アイデアの募集を行ったものです。

皆さんから寄せられた提案の主なものは左表のとおりですが、21世紀という新しい時代に向けての住民意識の高まりや熱い願望がうかがえ、今後のまちづくりに貴重な提言を与えてくれました。

提案の多かった10項目に絞って希望内容を分析してみます。

### ◇：坂田城復元など坂田池周辺の整備

一望千里の城山台地に坂田城の復元、展望台、資料館、観光梅林、巨大迷路、遊歩道。池には浮島の造成、ショウブ園。周辺にはシンボルタワー、螢の里など。

### ◇：駅周辺の整備

全国的に有名になるような駅舎の建設、跨線橋屋根の取付け、駐車場、小規模公園など。

### ◇：スポーツ・レク施設

夜間照明付野球場、アスレチック、トライアスロン、クロスカントリー、森林浴

## 夢のある

## 構想を

町長 佐瀬 哲司



皆さんのご提案には、町を思う切実な気持が込められており、今後の行政のあり方を改めて考えさせられました。

21世紀という新しい時代への対応、豊かな時代、価値感の変化などを考える時、今後のまちづくりはもつと夢のある構想にも力を注いでいかななくてはなりません。

一億円の使途については、皆さんのご意見を参考に検討中ですが、規模の大きな事業には資金的にも時間的にも無理がありますので、一時、基金として積立てておく方法も考えられます。